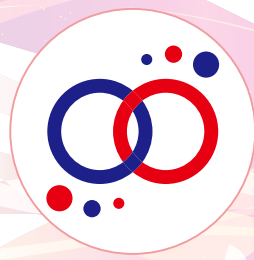


倉敷医療生活協同組合  
**コープリハビリテーション病院**  
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
 TEL 086-444-3212  
 老人保健施設 **老健あかね**  
 TEL 086-446-6541



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 倉敷医療生活協の医師団会議再開

「コロナで断絶されなかった」と思いと願います

コープリハビリテーション病院  
 管理者 鍛本真一郎

### 【はじめに】

コロナで途切れた倉敷医療生活協同組合の病院・診療所グループの医師と幹部の集会在2月に開催されました。これまで水島協同病院や玉島協同病院で臨床研修をされ各々でご活躍中の先生方の活動報告もありました。



写真A：演者の松田晋哉先生。座長は水島協同病院の山本院長O

【2040年に向けた中小病院の役割】  
 表題のご講演を松田先生（写真A）にしていただきました。先生は医療・介護のビ

報告します。田村先生は毎週1回、コープリハ群に来て在宅と入院・入所医療とで患者・家族満足度を研究しています。

### 倉敷市の人口動態

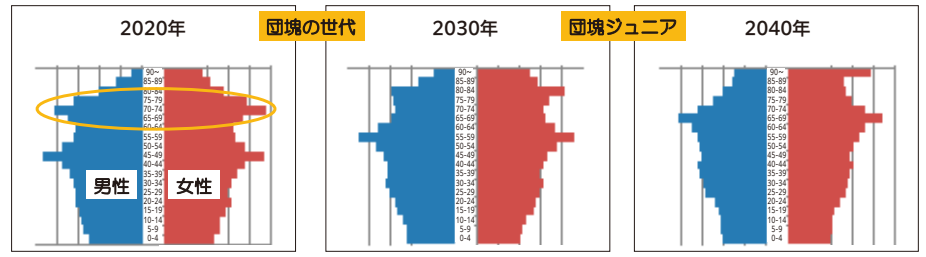


図1.松田晋哉先生のスライド：2035年、団塊の世代が全員85歳以上です。この年になると皆、複数の病気を抱え要介護状態です。1つの病気だけ専門にする医師ばかりだと医師不足は永遠に解消しません。なにより望む生活を送れない患者が一番不幸です。

ある高齢社会を実現するために医療者は何をすべきか説いてくれました。  
**【急性期医師が回復期/療養/老健でトレーニングする意義】**  
 田村先生（写真B）には表題の報告をしてもらいました（図



写真B：倉敷中央病院救急科から田村暢一郎先生

### 岡山県南西部の医療需要

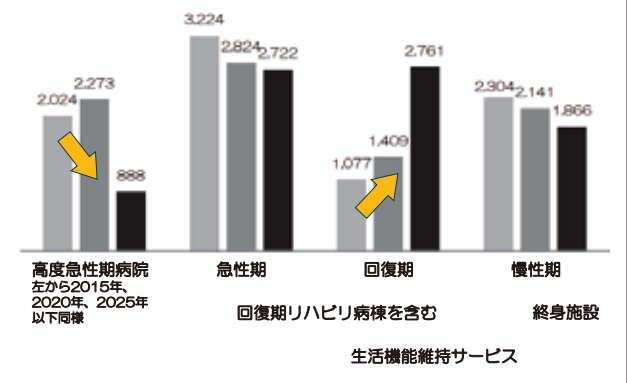


図3：田村暢一郎先生のスライド。2025年の医療需要と病床の必要量を推計。「回復期」とは急性期後の在宅復帰支援をする病棟、当院の回復期リハビリテーション病棟を含みます。

### 松田先生が考える在宅を支援する理想病院

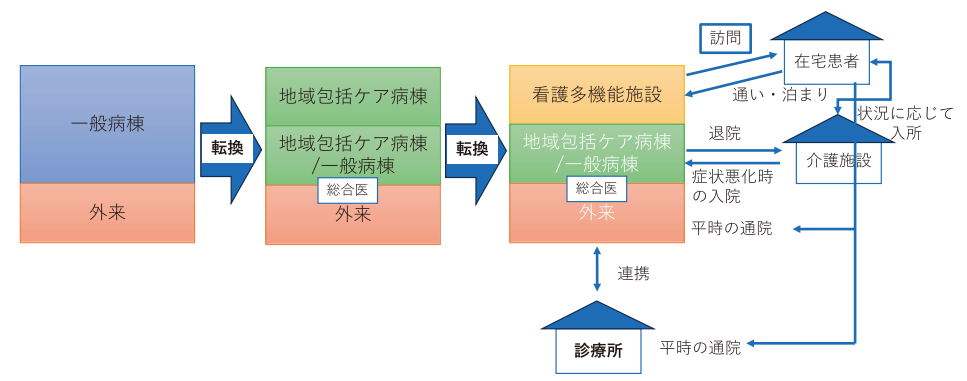


図4：松田晋哉先生のスライド

急性期医師が回復期/療養/老健でトレーニングする意義

田村暢一郎<sup>1)2)</sup> 鍛本真一郎<sup>2)</sup>  
 1.倉敷中央病院 救急科 2.コープリハビリテーション病院

図2：田村先生の講演タイトル

2)。松田先生と同様、高度急性期、回復期など施設ごとに需要が変わることを紹介（図3）。この中でコープリハ・老健あかねの仕事量は自院の集中治療室と変わらないと言われます。もちろん、病気の迅速対応や医療資源の投入量を除けばの話です。逆に急性期と比べ圧倒的に少ないマンパワーと期間制限の中で

【複合体の時代に向けて】  
 最後に松田先生が考える「高齢者を在宅で守る医療・介護複合体の理想型」を紹介します（図4）。当組合もこんなグランドデザインで内部が一致すれば未来は明るいはずです。その中でコープリハ群はリハビリを軸とした医療・介護複合体として存在価値を今以上に明確にしてまいります。

そこで生活機能を取り戻すリハビリまで求められています。彼の結論は「急性期医療者が回復期/生活期でのトレーニングから学べることは多い」です。

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。



# 倉敷市長からお礼状

## 中学生に総合的体験を提供

### 【倉敷市の活動】

倉敷市の唐井様（写真）が伊東市長のお手紙を携え来訪されました。

ところで20年前、村上龍

作「13歳のハローワーク」が、6年前は戦前の児童文学「君たちはどう生きるか」が漫画化され大ヒットしました。い

ずれも中学生が主人公です。倉敷市はその年代が地元企業と接することで社会の一員としての自覚を育む支援をされています。

微力ながらコープリハ・老健あかね（以下、当院）も協力企業として活動しているので紹介いたします。

### 【驚異的な高評価】

唐井様によると、これが生徒にすごく響いたそうです。（図1）

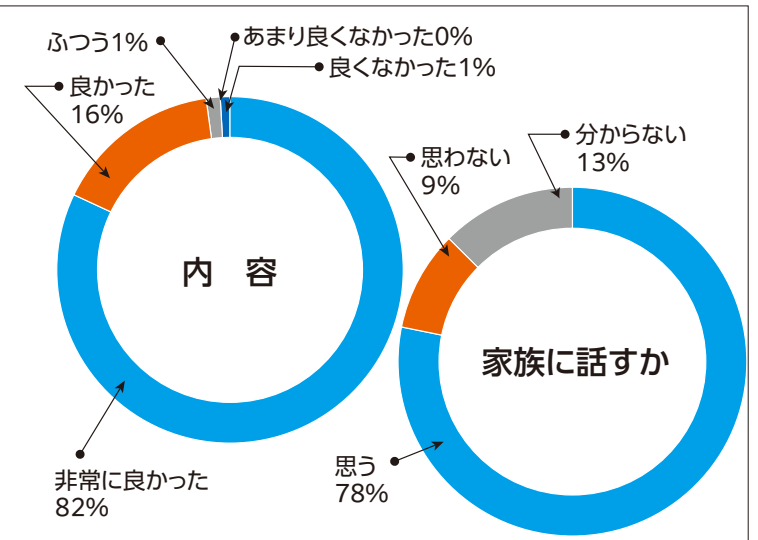
生徒からのアンケート結果を拝見しました。まず内容が「よかった」が合計98%。これは驚異的だそうです（図2左）。大概は80%とのこと。

さらに「家族に話すか」が約8割（図2右）。これは企業価値に共感した表れで職業観の育成を反映する、と言われました。

その他に「企業への就職」が他は大概1割のところ3割。ただ残念なのは「認知」で当院を「知っていた」は2割に達しませんでした。



（図1）倉敷市キャリア教育推進事業のパンフレットに掲載されたコープリハ・老健あかねによる学校訪問。講師は佐藤リハビリ科長、玉口介護福祉士、水畑看護師。



（図2）中学生のアンケート結果。唐井様によると「よかった」が98%は珍しく（左図）、「家族に話す」は子供が企業価値に共鳴した表れだそうです（右図）。



今回の事業を牽引している倉敷市文化産業局商工労働部労働雇用政策課の唐井様

### 【コンセプトはテーマパーク】

当院は生徒さんをワクワクさせることを中心に据えています。そのためテーマごとに体験とロールプレイングをしても

（コープリハビリテーション病院 老健あかね 管理者 鍛本真一郎）

## おうじクリニックより

# 医療連携訪問

2月27日、おうじクリニック副院長胡谷俊樹医師と原田看護師、地域連携担当の岡本様が来訪され、当院より鍛本院長、笹館事務長、山田師長、MSW中曾・小林と懇談しました。

日頃から、重介護の方の在宅生活を支える存在として訪問診療の重要性を強く感じています。終末期や医療対応が必要な



おうじクリニックの副院長胡谷俊樹医師（中央）と原田看護師（左から4人目）、地域連携担当の岡本様（左から3人目）

方も、新たに開始される定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所などと連携を取りながら在宅生活を支えていけるおうじクリニックの取り組みを興味深く聞かせていただきました。

患者様が安心して、望まれる生活が続けられるよう、このような在宅を支える医療機関や介護事業所として連携を図っていきたく思います。

（コープリハビリテーション病院 医療福祉相談・連携室 副主任 中曾真知子）

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会 発行責任者 笹館 勝人

診療表							
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]				老健あかね [086-446-6541]			
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
月	午前 9:00 ~ 12:30 4/1,15 中角 (整形外科)	14:30 ~ 15:00	午後	9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00	○	○
火	渡辺 (予約制)	○	滝本 (予約制)	○	○	○	○
水	飯塚	○	○	○	○	○	○
木	太田	○	滝本 (予約制)	○	○	○	○
金	香口	○	○	○	○	○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室		
相談	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
受付時間	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。